



JAM結成25周年記念

記念対談

初代会長 服部光朗氏 × 現会長 安河内賢弘氏

記念対談で熱く語る服部光朗初代会長



レセプション乾杯の音頭で壇上に上がる歴代会長。右から第5代宮本礼一氏、初代服部光朗氏、第6代安河内賢弘氏

8月29日・30日に開催した「JAM第26回定期大会」終了後に、初代会長・服部光朗氏（現JAM相談役・85歳）と現会長・安河内賢弘氏との「記念対談」、約700人を招いた「記念レセプション」を東京・グランドプリンスホテル新高輪で開いた。

「気力」「胆力」「決断力」を蓄えよ

対談では、服部氏がディーゼル機器（株）（現ボッシュ（株））に入社し設備課を希望したことや労働組合役員になった経緯などを話し、現役リーダーへ向け、「気力＝常に自らの気力・精神的なものを充実させておかなければならない」「胆力＝度胸が据わっていなければならない」「決断力＝一つの物事を完全に成し遂げる。しっかりと自分が決めたものを結論づける」。この三つの「力」を自分のものにして蓄えていただきたいとエールを送った。

記念レセプションは、労働組合関係から連合・芳野友子会長をはじめJCM、他産別の代表者、ドイツ金属産業労組IGメタル全国オーガナジング・プロジェクト統括責任アンドレアスフラッハ氏など、また、政党やものづくり国会議員

懇談会メンバーや各級議員、顧問弁護士などJAM運動に多大なる協力をいただいている方々や組織など約300人を招き、定期大会に出席した代議員（台風10号の影響で一部不参加）が25周年を祝った。

JAMは1999年9月9日に旧ゼンキン連合と旧金属機械が統合し、50万組織のJAMが結成された。

結成から現在まで歴代6人（初代・服部光朗氏、2代・小出幸男氏、3代・河野和治氏、4代・真中行雄氏、5代・宮本礼一氏、6代・安河内賢弘氏）の会長が就任しており、レセプション当日は3人の歴代会長（小出氏は体調不良、河野氏と真中氏は台風の影響で欠席）が乾杯時の壇上に揃った（写真上）。

JAMは結成10周年レセプションを2010年8月26日（東京・浅草ビューホテル）に開き（当初前年8月開催予定を衆院選投票の前々日のため延期）、20周年レセプションは新型コロナまん延における緊急事態宣言下で、2021年5月に式典のみでリモート開催した。周年記念レセプションは10周年以来となる。